

東北森林管理局 藤里森林生態系保全センター

白神山地巡視日誌

「ウマカ！」

【巡視箇所】 ニッ森・小岳・水沢・岳岱の巡視管理棟周辺
【巡視日】 平成30年11月5日（月）～11月13日（火）
【報告者】 一般職員 齊藤 俊介

岩木山や八甲田山で初冠雪を観測したというニュースが入り始め、白神山地にももうすぐ冬が訪れます。道路が冬季閉鎖される前に、当センターで管理しているニッ森・小岳・水沢巡視管理棟と岳岱の多目的展示施設の冬囲いを行って来ました。



各管理棟とも、室内の掃除を行ったあと積雪で壊れないように入口と窓に囲い板を設置しました。また、岳岱の多目的展示施設では、雪の重みで屋根が破損しないように支柱を使って補強してきました。このような作業を進めていく中で、私にとって初対面の珍しい動物に遭遇しましたのでご紹介します。

とある管理棟周辺を巡視していたところ、なにやらネズミらしき死体が……。有本専門官に確認したところ、なんとヤマネが無防備な姿で冬眠していました。センター職員なのに全くの勉強不足です。ヤマネはその可愛らしい姿からペットとして飼おうと持ち帰りたくなるかもしれませんが、国の天然記念物に指定されていて、許可無く捕獲するのは法律で禁止されています。夜行性でなかなか見つけれないヤマネに採用1年目で出会えた私はとてもラッキーですね。





岳岱に積雪はまだありませんでした。

枯葉に覆われた初冬のブナ林内では、今年豊作だったブナの実の他にエゾアジサイやゲンノショウコが種を付けていました。ゲンノショウコは種を飛ばした後の形が神輿に見えることから、ミコシグサとも言われるそうです。

今年度も無事、全ての管理棟と展示施設の冬囲いを終えることが出来ました。来春も多くの方にご利用いただけるように、これからも巡視と併行して施設管理を行っていきます。



ブナの実



エゾアジサイの種



ゲンノショウコの種



夕日に染まる三蓋山のブナ林

採用当初、不安と緊張の中で見ていた早春の山々が来シーズンどう違って見えるのか、今から楽しみです。